



先日、米子駅である高校生の見習うべき対応に遭遇しました。

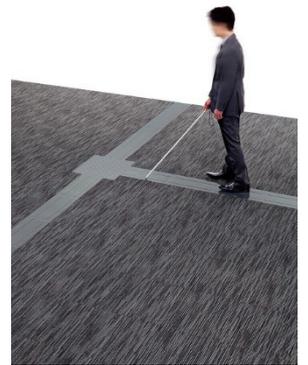
思いやりの行動

米子駅で下校時間帯の境線の列車に乗り出発を待っていました。その日は寒い日で、寒風が車内に入らないよう、みなさんが乗車してはドアを閉めていました。そんな状況の中、1人の高校生が小走りでドアまで走り、ドアを開けて自分の席へ戻っていきました。

みんなが寒くてドアを閉めているのに、この生徒は何がしたいのだろうと一瞬間疑問に思いました。何か目的があったのかなと考えながら外を見ると、白杖を持った高齢の男性がご夫婦で歩いて来る姿が見えました。先ほどの高校生の行動は、このご夫婦のためにドアを開けることだったと分かりました。

専門高校で学ぶ生徒たちは、自分を活かす道を一足早く決め、社会人として活躍するための専門分野の学習に日々取り組んでいます。その学びの根底にあるのは、専門の知識と技術で誰かの幸せを実現する、誰かの困りごとを解決するのだという意識です。そして、知識や技術を高めれば、今度はそれをどう活かすかという実践がなくてはなりません。

誰かの幸せの実現や困りごとを解決する意識があれば、そのための行動には必ずしも専門力を伴う必要はありません。先ほどの高校生がドアのボタンを押したように、今の自分に出来ることをすることが大切です。列車で見かけた高校生はパーカーを着ていたのでどこの高校に通う生徒かはわかりませんでした。社会で大切なことをきちんと学んでいると感じました。



意識して見れば、みなさんの周りに小さな親切でもとても喜んでくださる方々がいらっしゃると思います。

でも、本当に手助けが必要なのか、自分の行動がかえって迷惑にならないのかと考えてしまうこともありますよね。そんな時は気軽に「お手伝いしましょうか」と声をかけてみてください。

校長 松川 明義



【行事予定】1月25日(水)～30日(月)：3年生学年末考査
25日(水)：頭髪服装指導(3年)、人権教育講演会(2年)
26日(木)～27日(金)：特色入学者選抜出願
今週の大会等：スキー中国選手権(氷ノ山)



米工 HP